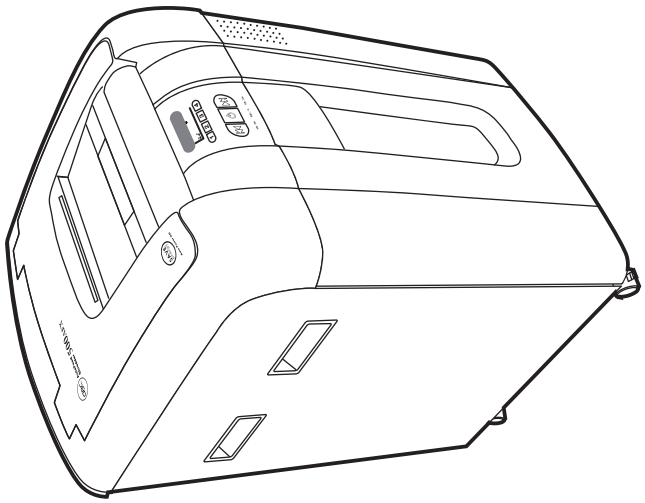
500AFX V1

取扱説明書

オートフィードシュレッダ
500AFX



アコ・ブランズ・ジャパン株式会社

ACCO BRANDS

GBC

キ　リ　ト　リ　線

オートフィードシュレッダ 保証書 持込修理/出張修理

品　　名	オートフィードシュレッダ 500AFX
品　　番	GCS500AFX
保証期間	1年
ｼﾘｱﾙNo.	

★お買上げ日	年　　月　　日
★お 客 様	ご芳名 ご住所 TEL　　（　　）

★印欄に記入のない場合は無効となりますので必ずご確認ください。

弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。
保証期間内に、取扱説明書等の注意書きにしたがって正常な使用状態で故障した場合には本書記載内容に基づき、お買い上げの販売店が無償修理いたします。お買い上げの日から左記保証期間内に故障した場合は商品と本書をお持ちいただき、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

販売店	住所／店名 TEL　　（　　）

見本

ACCO BRANDS
アコ・ブランズ・ジャパン株式会社
www.accobrands.co.jp
お客様相談センター（野田サービスセンター）
04-7129-2135（代）

個人情報のお取り扱いについて

本保証書にご記入いただいたお客様の個人情報は、保証期間内のサービス活動や保証期間経過後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。お客様の個人情報は当社にて厳重に管理いたしますが、修理のために、当社から修理委託する保安会社などに必要なお客様の個人情報を預託する場合がございます。その場合は当社が厳重に管理いたしますので、あわせてご了承ください。

はじめに

このたびは弊社オートフィードシュレッダをお買い求めいただき、ありがとうございました。
ご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、末永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。
本取扱説明書は必ず保管してください。

目　次

1• 内容物の確認 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
2• ご使用上の注意 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
3• 各部の名称と働き ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
4• ご使用の前に ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
　細断不可アイテム ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
　細断能力 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
　ゴミ袋のセット ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
　メディア用ダストボックスの取付方法 ・・・・・・・ 11
　インターロックスイッチ ・・・・・・・・・・・・・・ 12
5• ご使用方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
　オートフィードモード ・・・・・・・・・・・・・・・ 14
　CD/DVD・カードの細断 ・・・・・・・・・・・・・・ 17
　ノーマルモード ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
　紙詰まりを起こした時 ・・・・・・・・・・・・・・・ 21
6• ゴミを捨てる時 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23
7• お手入れ方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24
　フィードローラーのクリーニング ・・・・・・・・・・ 25
　オートスタートセンサーのクリーニング ・・・・・・ 25
　カッターのメンテナンス ・・・・・・・・・・・・・・ 25
8• こんな時は ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26
9• 製品仕様 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28
保証とサービス（保証書添付）

お客様へ

★小さなお子様自身の使用、または小さなお子様がいらっしゃる環境での使用は絶対にしないでください。
また使用後は必ず主電源スイッチを切り、電源プラグも抜いてください。

★本機は製造途中において細断テストを含む製品検査を実施しております。細断テストの後、細断くずの除去を行っておりますが、カッターなどに付着した細断くずが輸送途中の振動などにより落下し、くず箱や本体に残っている場合があります、あらかじめご了承ください。

保証とサービス

★保証書は内容をご確認のうえ、大切に保存してください。
　販売店印、お買い上げ年月日の記入の無いものは無効となりますのでご注意ください。

★保証期間中に正常な使用状態で、万一故障した場合には、保証書記載事項に基づき、無償修理または交換いたしますのでお買い求めの販売店、または、弊社へお申し出ください。

（1）保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
　a 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
　b お買い上げ後の取付場所の移動、落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
　c 火災、地震、水害、落雷その他天災地変ならびに公害や異常電圧その他外部要因による故障または損傷。
　d 過酷な条件のもとで使用されて生じた故障または損傷。
　e 本書の掲示のない場合。
　f 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
　g 本機は専門処理業者様の業務用途には適しません。
（2）ご贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には当社へご相談ください。
（3）本書は日本国内においてのみ有効です。
（4）本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。
（5）補修用性能部品保有期間は製造中止後5年間です。
　同等機種との交換により修理対応とさせて頂く場合もございます。

修理メモ

お客様相談窓口　：野田サービスセンター　04-7129-2135

この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明な場合はお買い上げの販売店または当社へお問い合わせください。

9・製品仕様

商品名	オートフィードシュレッダ 500AFX		
品番	GCS500AFX		
細断物	紙	CARD	CD/DVD
投入幅	240 mm（A4）		123 mm
細断サイズ	4×40 mm クロスカット		ストレートカット(3分割)
最大細断枚数	10 枚	1 枚	1 枚
定格細断枚数	10 枚	1 枚	1 枚
最大給紙枚数 (オートフィード時)	500 枚		
定格運転時間	45分運転		
細断速度	3.1 m／分(50Hz)、3.5 m／分(60Hz)		
サイズ(W) x (D) x (H)	510 × 528 × 817 mm		
質量　kg	41.0 kg		
電源	AC 100 V, 50/60 Hz		
定格消費電力	250 W		

最大細断枚数：
　10回連続で細断することができる枚数。(64g/m²・A4コピー用紙、細断率90％以上)

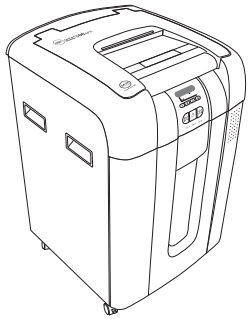
定格細断枚数：
　定格時間内において連続で細断することができる枚数。(64g/m²・A4コピー用紙、細断率90％以上)

定格運転時間：
　定格細断枚数を連続して細断できる運転時間です。

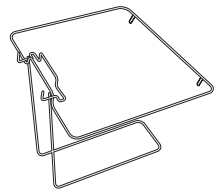
1・内容物の確認

下記のとおり、本体および付属品が同梱されています。

マシン本体

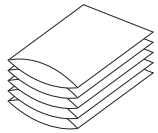


ゴミ袋フレーム
（紙類用）



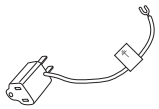
ダストボックス
（メディア用）

ゴミ袋(5枚)

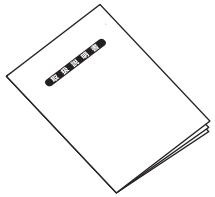


電源コード

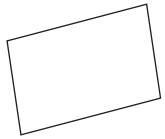
電源アダプター
（アース端子付）



取扱説明書(保証書付き)



シュレッダ使用時の注意書き



※お手元に置いてご使用になることをお勧めします。

2・ご使用上の注意

表示の意味

⚠ **警告** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ **注意** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

安全にご利用いただくために、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠ 警告

絶対に可燃性のスプレー式潤滑剤を
シュレッダ機構部に噴霧したり、
エアゾールを紙投入口から
噴霧しないでください。

シュレッダの紙投入口、カッター部、ダストボックス等にスプレー噴霧した場合、シュレッダ内部に可燃性ガスが滞留し、シュレッダのＯＮ－ＯＦＦスイッチの切り替え接点の火花、静電気の火花、内部モーター整流子の火花等に引火して、火災や爆発を引き起こす恐れがあります。
機械の清掃や機構部の注油が必要な場合は、取扱説明書をご覧になるか、弊社にお問い合わせの上、危険のない正しいやり方で行ってください。
（万一、事故が発生し、火傷を負った場合は、すぐに患部を氷水等で冷やしてから医師の手当てを出来るだけ早く受けてください。）

お手入れの際に可燃性スプレーを使用しないでください。内部にガスがたまり、引火の危険性があります。

危険ですので、お子様には絶対に使用させないでください。
※マシン内部にカッターがあり、けがをする恐れがあります。

危険ですので、カッター部には手を触れないでください。また、投入口や排出口には指を入れないでください。
※マシン内部にカッターがあり、けがをする恐れがあります。

ネクタイ・ネックレス・衣類が引き込まれないようにしてください。
※けがをする原因になる恐れがあります。
万一引き込まれた時は電源を切って、引き込まれた部分と引き込まれなかった部分の境で切り離してください。次に、電源を入れて逆転作動させて引き込まれたものを取り除いてください。 引き込まれたまま電源を切らずに、逆転作動させたり、無理に引き戻すことは絶対に避けてください。

現　象	原　因	対処法（参照ページ）
手差し細断できない	◇オートフィードモードで細断中ではありませんか？	オートフィードモードで作動時に、同時に手差し細断することはできません。終了してから手差し細断し直してください。（13ページ）
	◇紙を多く入れすぎていませんか？	細断できる枚数をご確認ください。紙を取り除き、最大細断枚数以下に分けて分けて細断してください。（10ページ）
	◇細断するものが投入口中央を通過していますか？	投入口中央にあるオートスタートスイッチを通過するように投入してください。小さなサイズの紙はカード類の処理方法で細断してください。（20ページ）
	◇投入口の奥まで投入していますか？	投入口の構造上入りにくくなっています。紙を立てた状態にして投入口の奥深くまで投入してください。（20ページ）
	◇紙を斜めにして入れていませんか？	手動逆転ボタンを押して紙を引き出し、再度まっすぐに投入し直してください。（21ページ）
トップカバーが開かない	◇トップカバーをロックしましたか？	入力した4桁の数字を再入力してロックを解除してください。 3回コードを間違えて入力した場合、ロックアウトされます。その場合、細断終了後自動解除されます。 また、紙詰まりなどで細断が終了できない場合、30分後に自動解除となります。その間、電源を切らないでください。（16・17ページ）
オートフィードが作動しない	◇オートフィードモードが細断途中で停止する	冬季等の乾燥期や気密性が高い室内等の環境下で使用する場合、発生しやすくなる静電気の影響により「オートスタートセンサー」が反応しない可能性があります。そ「オートスタートセンサー」を綿棒等で清掃してください。（25ページ）
ゴミが散らかる	◇ダストボックスがすぐゴミで満杯になってしまう	細断を開始する前にダストボックスを引き出し、ゴミを処分してください。 オートフィード時には、「最大収納枚数目盛り」の「MAX」を超えないように注意して、紙をセットしてください。（14・15・16ページ）
	◇ゴミを捨てる時、ゴミが溢れて散らかってしまう	細断終了後、ダストボックスを前後に揺らしてから取り出すと、ダストボックス内のゴミが均されて、外に溢れにくくなります。（23ページ）

8・こんな時は

現　象	原　因	対処法（参照ページ）
動かない	◇電源プラグが正しくコンセントに入っていますか？	電源プラグを正しくコンセントに入れてください。（15ページ）
	◇電源が入っていますか？	マシン背面にある主電源スイッチを“入（｜）”にしてください。（15ページ）
		電源ボタンを押してしてください。インジケーターバー(緑)と電源ボタン(青)の点灯を確認してください。（15ページ）
	◇トップカバー＆ドアオープン／細断くず満杯ランプが点灯していますか？	トップカバーやキャビネットドアがしっかり閉まっていませんとこのランプが点灯して、作動しません。奥まできちんとセットしてください。（13ページ）
		ゴミ袋のゴミが満杯になりますと、このランプが点灯して停止します。ゴミを捨ててください。（23ページ）
細断中に止まった	◇過投入／紙詰まりランプ点灯していますか？	適正細断枚数以上の紙やカードを細断した場合や、紙詰まりを起こした場合、トラブルを防ぐために過投入／紙詰まりランプが赤色に点灯して細断を拒否します。（21ページ）
	◇オーバーヒートランプが点滅していませんか？	通常の使用を超えて連続細断したり、紙がかみこんだ状態で放置しますと、モーター保護のため自動的に停止します。電源プラグを抜き、約60分冷却してください。再び使用することができます。（13ページ）
オートフィード細断できない	◇オートフィードトレイに紙が残ってしまう	規定以外の紙厚・細断不可物・オートフィードできないものが感知されたため、オートリバース機能が働きました。紙を取り除いてください。（9・14ページ）
	◇ステープラーで綴じた書類が詰まってしまう	規定内の枚数(25枚以下)か確認してください。また、ステープル針の下部分(隙間のある側)が下になるようにセットし直してください。（14ページ）

髪が引き込まれないようにしてください。
※けがをする原因になる恐れがあります。
万一引き込まれた時は電源を切って、引き込まれた部分と引き込まれなかった部分の境で切り離してください。次に、電源を入れて逆転作動させて引き込まれたものを取り除いてください。 引き込まれたまま電源を切らずに、逆転作動させたり、無理に引き戻すことは絶対に避けてください。

濡れた手で電源プラグを扱わないでください。
※感電の恐れがあります。

電源コードを傷つけたり、加工したりしないでください。また、コードの上に重いものをのせたりしないでください。
※火災、感電の恐れがあります。

ご自分で分解、改造、修理をしないでください。
※感電や思わぬけがをする恐れがあります。

万一、煙が出たり、変な臭いがするなど、異常な状態になりましたら、使用を中止して、電源プラグを抜いてください。
※火災、感電の恐れがあります。

⚠ 注意

本機はCD/DVD/CARD(プラスチック製カードのみ)と紙類の細断専用機です。他の目的に使用しないでください。
※故障の原因となります。
★ＯＨＰシート・カーボン紙・ノンカーボン紙・感熱紙・厚紙・通帳の表紙・封筒(糊がついているため)・ポリ袋・布・ビニール・フィルム・ラベル用紙・シールなどの糊の付いたものは細断には適しません。投入しないでください。
★クリップ・ピン・ステープル等は必ず取り除いてから投入してください。針をつけたままの細断はステープル10号針まで可能です。

ボタン電池は投入しないでください。
※故障の原因となります。

CD/DVDのラベルははがして細断してください。
※カッター内部にラベルが付着し、細断能力が落ちたり、故障の原因になります。

CD/DVDのゴミを処理する時は、細断くずで手などを傷つけないように注意してください。
※けがをする原因になる恐れがあります。

トップカバー後部には手や物を置かないでください。
※カバーの開閉時に生じるすき間に入ると、負傷したり、マシンの故障の原因となります。

本機は重心が高い位置にありますので、転倒に注意してください。
水平で安定した場所に設置してください。
※けがをする原因になる恐れがあります。
操作中に転倒したときは、必ず電源を切って適切に処理してください。

本機の上に物をのせたり、腰掛けたり、のったりしないでください。
※けがをする原因になる恐れがあります。

冷暖房機のそば、高温多湿な場所、ほこりの多い場所で使用しないでください。
※火災、感電の恐れがあります。

本機に水などをかけないでください。
※火災、感電の恐れがあります。

ゴミを捨てる時、ご使用にならない時、移動する時は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
※火災、感電の恐れがあります。

電源プラグを抜く時は必ずプラグ部を持って抜いてください。
※火災、感電の恐れがあります。

必ずコンセントの近くで本機を利用し、電源プラグが容易に着脱できるように、コンセントの近くにものをおかないでください。

電源は必ずAC100V 電源をご使用ください。タコ足配線はしないでください。
※火災、感電の恐れがあります。

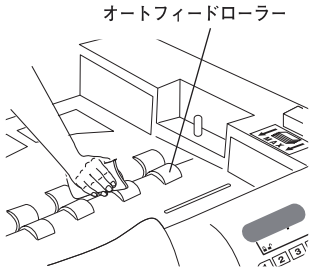
★汚れがひどい時は、中性洗剤をごく少量だけ布につけて拭いてください。
※シンナー・ベンジン等化学薬品は変色・変形・傷などの原因となりますので使用しないでください。

⚠ 警告

ご自分で分解、改造、修理を絶対にしないでください。
※感電や思わぬけがをする恐れがあります。

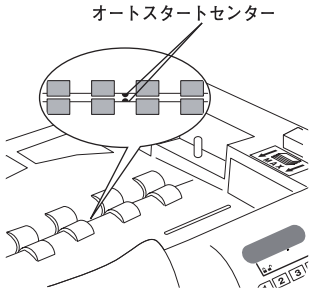
オートフィードローラーのクリーニング

オートフィードトレイ中央に4対のオートフィード用のローラーがあります。長くご使用されておりますと、ホコリの付着等によりオートフィードに支障をきたす場合があります。
乾いた布でローラーのホコリの付着を落としてください。



オートスタートセンサー（オートフィード）のクリーニング

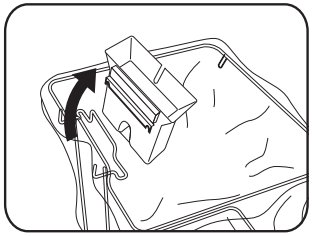
本機には、光方式のオートスタートセンサー（オートフィード）が装備されています。長くご使用されておりますとホコリの付着等によりまれに誤動作を起こす場合があります。
レンズ部分を綿棒等でホコリの付着を落としてください。



カッターのメンテナンス（メンテナンスシート）

カッターの性能を持続するために、シュレッダに投入するだけで簡単に使用できるメンテナンス用潤滑油「シュレッダ用メンテナンスシート（別売）」を利用することをお薦め致します。

④メディア用ダストボックスはゴミ袋用フレームから取り外して、ゴミを処分してください。



★細断クズは地域の指定に従って処理しましょう。

ダストボックスの窓の 8 分目まで細断くずが到達したら、早めにゴミを捨ててください。巻き込み等故障の原因となります。

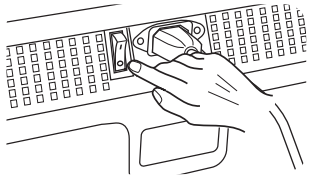
★メディア用ダストボックス内のくずは表から視認できません。メディアのくずがたまりすぎますと、くずが巻き上がりたいへん危険です。また故障の原因となります。
CD/DVDは8枚を目安に早めに捨ててください。

⚠ 注意

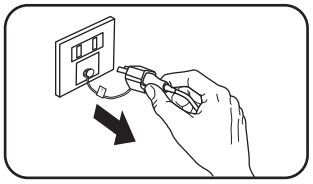
CD/DVD/CARDのゴミを処理する時は、細断くずで手などを傷つけないように注意してください。

7・お手入れ方法

①主電源スイッチを“切(O)”にしてください。

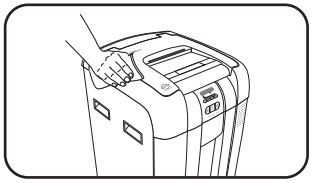


②電源プラグをコンセント(AC 100V)から抜いてください。

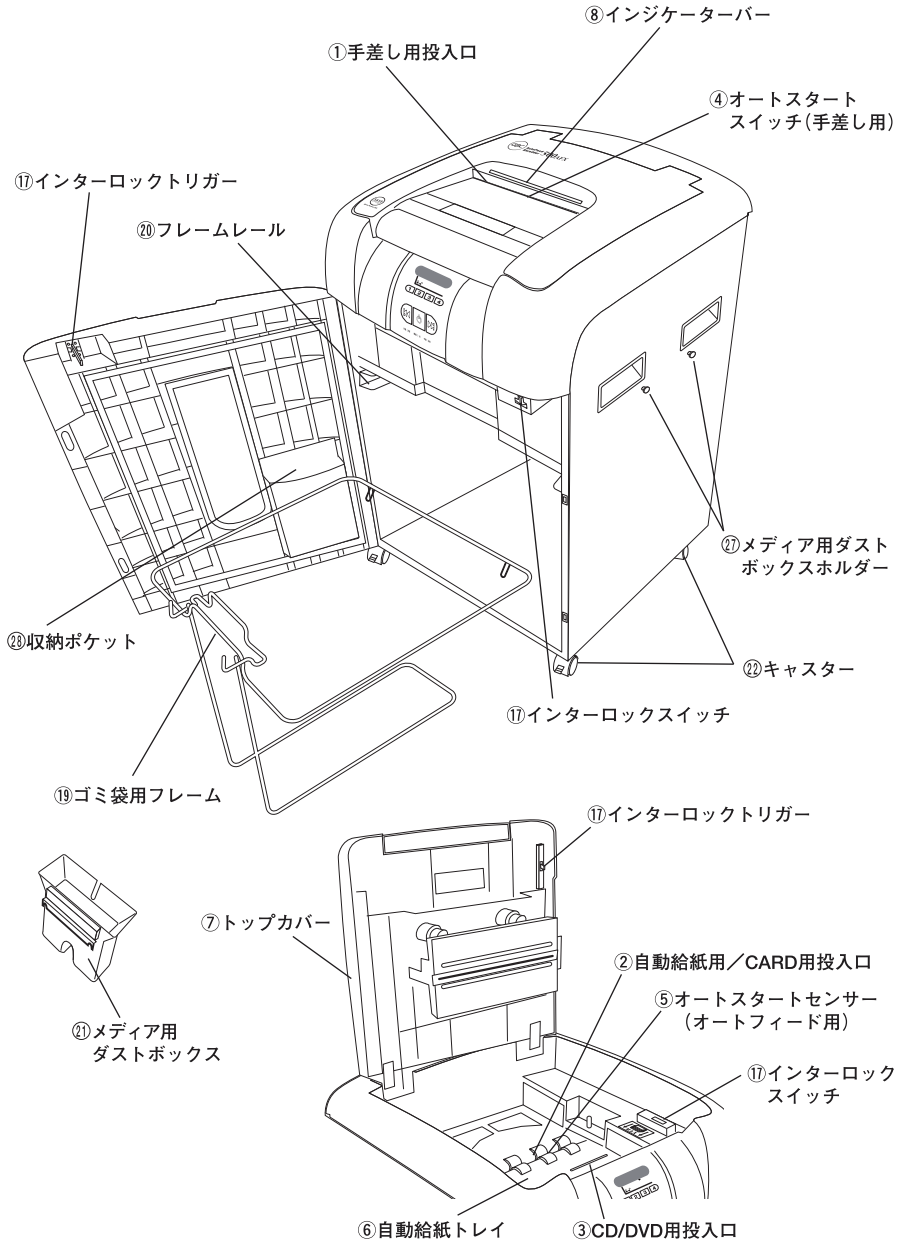


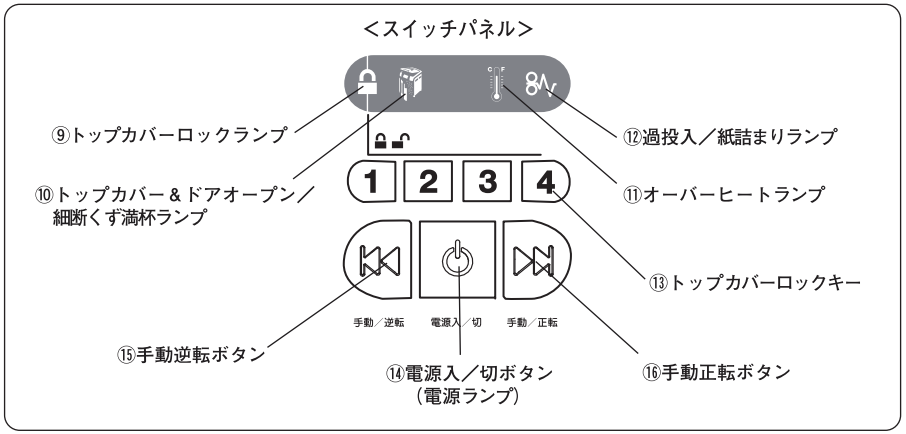
③やわらかい布でから拭きをしてください。

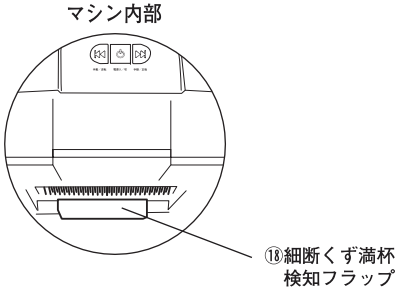
※お手入れはマシン本体の外部樹脂部とキャビネットだけにしてください。

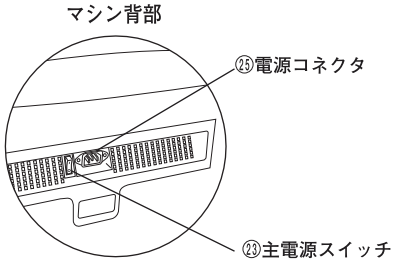


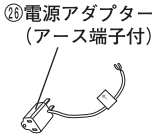
3・各部の名称と働き











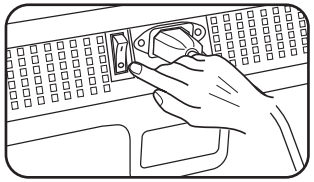
6・ゴミを捨てる時

本機は紙用とメディア用の２つのダストボックスを搭載しておりますが、静電気等の理由により完全な細断くずの分別はできません。あらかじめご了承ください。

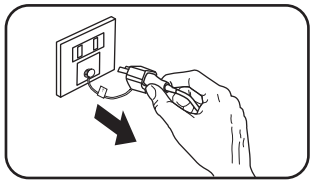
ー細断くず満杯検知システムー

本機には、細断くず満杯検知フラップが装備されています。ダストボックスが満杯になりますと、トップカバー＆ドアオープン／細断くず満杯ランプ(赤)が点灯して、細断くずが満杯であることを知らせ、細断ができなくなります。ダストボックスにたまったゴミを処分してください。
再びダストボックスを閉じると、カッターが自動回転してカッターをセルフクリーニングします。

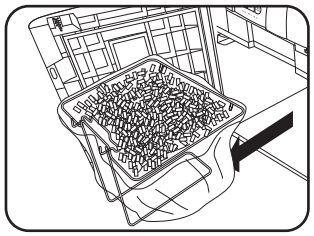
①主電源スイッチを“切(O)”にしてください。



②電源プラグをコンセント(AC 100V)から抜いてください。



③ゴミ袋用フレームをキャビネットから引き出し、ゴミ袋を交換してください。
★ダストボックス内のゴミが満杯に近い状態の時は、細断終了後、ダストボックスを前後に揺らしてからダストボックスを取り出すとゴミが均されて外にあふれにくくなります。

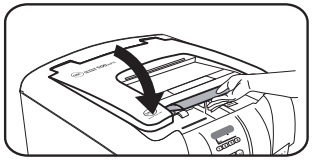


★市販の90L用ゴミ袋がご使用いただけます。

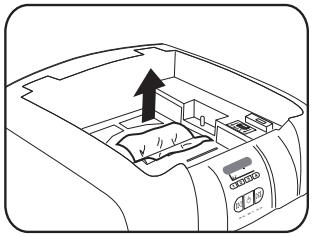
ーセルフクリーニング機能ー

トップカバーやダストボックスがセットし直されたりしますと、自動的に正転(約8秒)して、カッター部のゴミを取り除くためのセルフクリーニングを行います。マシンの故障ではありません。

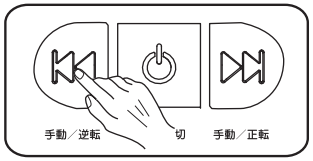
トップカバーをしっかり閉めて、手動逆転ボタンを数秒間押してください。
トップカバーが閉まっていませんと、手動逆転させることができません。



再度、トップカバーを開けて、詰まった紙を引き出してください。

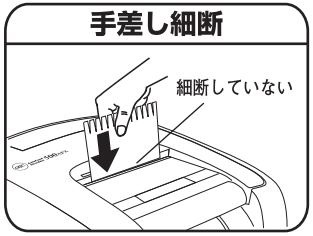


③一度の操作で紙詰まりが解消しない場合は、手動正転ボタンを押した後に、再度手動逆転ボタンを押してください。

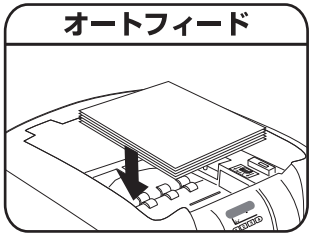


④細断し直してください。

手差し細断時：
詰まった紙の量を減らして、細断していない方向から投入口にまっすぐに入れ細断してください。



オートフィード時：
フィードトレイにセットし直して細断ください。



⚠ 注意

モーター保護のため、頻繁に正転⇔逆転を繰り返さないでください。故障の原因となる場合があります。
必ず最大細断枚数を守ってご使用ください。

紙詰まりを起こしたまま放置しないでください。
※故障をする原因になる恐れがあります。

① **手差し用投入口**
手差し細断(ノーマルモード)時の手差し用投入口です。紙以外の投入は絶対に避けてください。

② **自動給紙用／CARD用投入口**
自動給紙細断(オートフィードモード)時の投入口です。
また、CARD(プラスチック製カードのみ)を細断する場合もこの投入口へ入れてください。

③ **CD/DVD用投入口**
CD/DVD用投入口です。

④ **オートスタートスイッチ(手差し用)**
手差し用投入口中央にあるスイッチを通過しないと、カッター/モーターは自動正転しません。

⑤ **オートスタートセンサー(オートフィード用)**
自動給紙用投入口にあるセンサーがセットされた紙を感知して、カッター/モーターを自動正転させます。

⑥ **自動給紙トレイ**
オートフィードモードで細断する場合、細断する紙をこの自動給紙トレイにセットしてください。セットされた紙は自動給紙用投入口に送られ、自動的に細断されます。

⑦ **トップカバー**
自動給紙トレイにセットされた紙を押さえます。また、このカバーがしっかり閉まっていませんと安全のために作動しません。トップカバー＆ドアオープン／細断くず満杯ランプ(赤)が点灯します。

⑧ **インジケーターバー**
インジケーターバー(赤･緑)が点灯して、状態を知らせます。

⑨ **トップカバーロックランプ**
本機は細断する書類の機密を守るために、トップカバーをロックすることができます。トップカバーロックキーでのコードを入力時は点滅し、赤色に点灯してロックされたことを示します。

⑩ **トップカバー＆ドアオープン／細断くず満杯ランプ**
トップカバーやダストボックスドアがしっかり閉まっていませんとこのランプが点灯して、作動しません。トップカバーやダストボックスドアを確認してください。
また、細断くずが満杯になりますと、自動でカッターが停止し、このランプが赤色に点灯して知らせます。ダストボックスのゴミを捨ててください。

⑪ **オーバーヒートランプ**
連続運転を続けたり、書類がかみこんだ状態で放置しますと、オーバーヒート防止機能が働き、オーバーヒートランプが赤色に点滅して自動的に停止します。約60分後モーターが冷却され、ランプが消灯して再度使用することができます。

⑫ **過投入／紙詰まりランプ**
適正細断枚数以上の紙やカードを細断した場合や、紙詰まりを起こした場合、トラブルを防ぐために過投入／紙詰まりランプが赤色に点灯して細断を拒否します。

⑬ **トップカバーロックキー**
4桁のコードを入力して、トップカバーをロックすることができます。トップカバーロックランプが赤色に点灯してロックされたことを示します。

⑭ **電源入／切ボタン（電源ランプ）**
電源入／切ボタンを押すと電源が入り、このボタン（青）が点灯します。その後、手差し細断時では、オートスタート機能が働き、紙がオートスタートスイッチを通過することにより自動的に正転作動・停止します。

⑮ **手動逆転ボタン**
手動逆転ボタンを押している間だけ、カッターは逆転作動します。

⑯ **手動正転ボタン**
手動正転ボタンを押している間だけ、カッターは正転作動します。

⑰ **インターロックスイッチ／トリガー**
トップカバーとキャビネットドアがきちんと閉まっていない場合は、安全のために本機は作動しません。万一の場合は、トップカバーやキャビネットドアドアを開けるとモーターは停止しますので、非常停止手段として使用可能です。

⑱ **細断くず満杯検知フラップ**
細断くずが満杯になりますと、細断くず満杯検知フラップが働き、自動でカッターが停止します。ゴミ袋のくずを捨ててください。

⑲ **ゴミ袋用フレーム**
ゴミ袋用フレームにゴミ袋をセットして、フレームレールに入れて使用してください。

⑳ **フレームレール**
ゴミ袋用フレームをフレームレールに入れてセットしてください。また、メディア用ダストボックスはこのフレームにセットしてご使用ください。

㉑ **メディア用ダストボックス**
ゴミ袋用フレームにセットして使用してください。

㉒ **キャスター（前2ヶ所ストッパー付）**
安全のために、使用時は必ずキャスターのストッパーをロックさせてください。
キャスターのレバーを下にセットするとロックできます。

㉓ **主電源スイッチ**
マシン背面にある主電源スイッチを押して、電源を入（Ⅰ）／切（○）にします。使用しない場合は、必ず電源を切ってください。

㉔ **電源コード**
マシン本体背面にあるコネクターに接続し、電源プラグを必ずAC100V のコンセントへ差し込んでください。
※本機には必ず付属の電源コードを使用してください。
同等品を使用する際は必ず許容電流値が同等以上の電源コードをご使用ください。

㉕ **電源コネクタ**
付属の電源コードをしっかりと差し込んでください。

㉖ **電源アダプター（アース端子付）**
電源コードをしっかりと差し込み、コンセントに接続して使用してください。

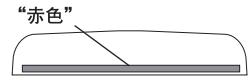
㉗ **メディア用ダストボックスホルダー**
メディア用ダストボックスを使用しない時は、このホルダーに掛けて収納してください。

㉘ **収納ポケット**
本取扱説明書やゴミ袋等備品の収納にご利用ください。

紙詰まりを起こした時（オートリバース／手動逆転モード）

ー紙厚検知センサー（紙詰まり防止機能）ー

手差し用投入口で細断した場合、紙詰まりトラブルを未然に回避する紙厚検知センサーが装備されています。適正枚数（＝紙厚）以上に細断しようとした時、インジケーターバーが赤色点灯して、細断することができません。
紙厚検知センサーが働いた場合は、細断する紙を適正枚数（＝紙厚）に減らしてやり直してください。

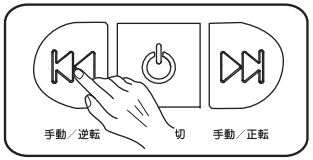


ーオートリバース機能ー

過負荷防止機能により、モーターが過負荷になりますと、過投入／紙詰まりランプ（赤）が点灯します。
自動的に正転・逆転を繰り返し、紙詰まりを解消します。その後出てきた紙を引き出してください。

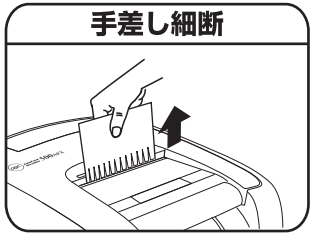
それでも紙詰まりが解消せず、過投入／紙詰まりランプ（赤）が点灯したままの場合は、下記手順で詰まったものを引き出してください。

①それでも紙詰まりが解消しない場合は、手動逆転ボタンを押して、カッターを逆転させてください。
手動逆転ボタンを押している間、カッターは逆転作動し続けます。

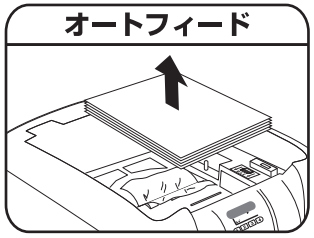


②詰まった紙を引き出してください。

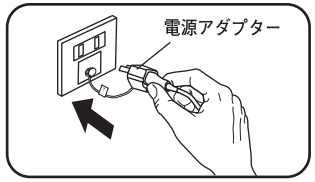
手差し細断時：
手動逆転ボタンを押しながら、詰まった紙を引き出してください。



オートフィード時：
トップカバーを開けて、トレイ内の紙詰まりしていない紙を取り除いてください。



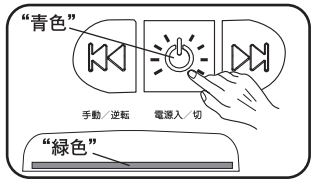
②付属の電源アダプター(アース端子付)のアース端子をアース接続した後に、コンセント(AC100V)に差し込んでください。



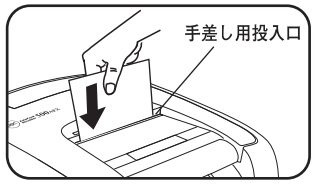
③マシン背面にある主電源スイッチを“入(Ⅰ)”にしてください。

④電源ボタンを押してください。
トップカバーにあるインジケーターバー(緑色)と電源ボタン(青色)が点灯し、細断が可能になります。

※2分間使用しないと、電源入／切ボタン(青色)が消え、自動的に待機状態になります。再度使用する場合は、電源入／切ボタンを押してください。



⑤手差し投入口中央にあるオートスタートスイッチを通過するようにして、紙を立てた状態で奥深くまで投入してください。

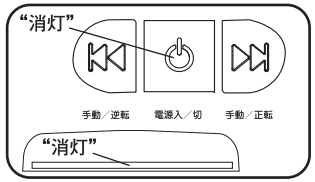


⚠ 注意

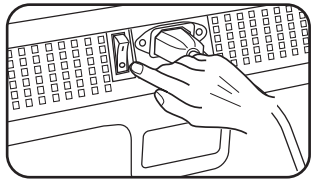
手差し用投入口は紙専用投入口です。
CD/DVD/カード類を絶対にこの投入口に入れて細断しないでください。
※故障やけがをする原因になる恐れがあります。

⑧細断が終了しますと、約2分後にトップカバーにあるインジケーターバー(緑色)と電源ボタン(青色)が消灯して、自動的に待機状態になります。

※再度使用する場合は、電源入／切ボタンを押してください。



⑨マシン背面にある主電源スイッチを“切(○)”にしてください。
その後、コンセントを抜いてください。



4・ご使用の前に

細断不可アイテム

本機はCD/DVD/CARD(プラスチック製カードのみ)と紙類の細断専用機です。下記のものについては細断しないでください。故障の原因となります。

ステープル不可
(10号針まで可能)

ポリ袋不可

封筒書類不可
※糊・粘着シール等が付いたものを含む。

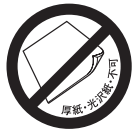
クリップ不可

ボタン電池不可

雑誌類不可

布不可

クリップ不可



厚紙・
光沢紙不可

カーボン紙・
ノンカーボン紙・
感熱紙不可

プラスチック
シート不可

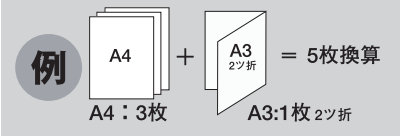
湿った紙不可

ノーマルモードでの本機の定格細断枚数は**10枚**(50Hz/60Hz)となっております

投入口に入らない大きいサイズの紙類を細断する場合は2ツ折にしてください。
その場合、2枚換算となります。

1枚換算

2枚換算



細　断　能　力

紙詰まりなどによる故障を避けるために、下記の細断枚数を必ず守ってください。

＜手差し細断（ノーマルモード）時＞

種類	摘要	カットタイプ	最大細断枚数	定格細断枚数
紙　類	A　4（コピー用紙 64g/m²）	クロスカット（4×40mm）	10枚（50Hz） 10枚（60Hz）	10枚（50Hz） 10枚（60Hz）
記録用メディア	CD/DVD/CARD	ストレートカット（3分割）	1枚（50Hz） 1枚（60HZ）	1枚（50Hz） 1枚（60HZ）

＜最大給紙可能枚数（オートフィードモード）時＞

種類	摘要	カットタイプ	最大細断枚数
紙　類	コピー用紙（64g/m²－80g/m²）	クロスカット（4×40mm）	約500 枚（50/60Hz）

※紙質や湿度等により細断枚数は異なります。

最大細断枚数：

10回連続で細断することができる枚数。（64g/m²・A4コピー用紙、細断率90％以上）

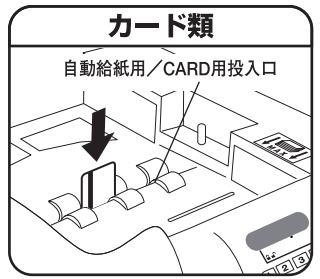
定格細断枚数：

定格時間内において連続で細断することができる枚数。（64g/m²・A4コピー用紙、細断率90％以上）

⚠ 注意

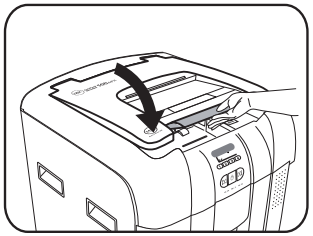
CD/DVDを絶対に紙専用投入口に入れて細断しないでください。
モーター保護のため、紙類とCD/DVDを同時に細断しないでください。
※故障やけがをする原因になる恐れがあります。

カード類の細断：
自動給紙用／CARD用投入口ローラーの間に細断するカード類を1枚ずつ奥まで差し込んでください。

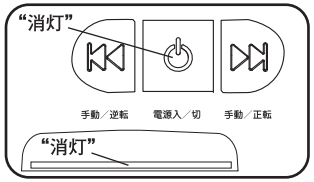


★小さなサイズの紙類の細断
レシート等小さな紙類は、カード類と同様の方法で細断してください。

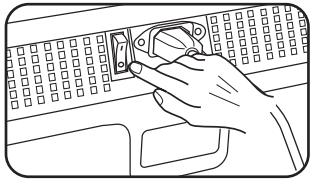
⑦中央のハンドルを持ち上げながら、トップカバーを押してしっかりと閉めてください。
閉めた後、細断を開始します。



⑧細断が終了しますと、約2分後にトップカバーにあるインジケーターバー（緑色）と電源ボタン（青色）が消灯して、自動的に待機状態になります。
※再度使用する場合は、電源入／切ボタンを押してください。

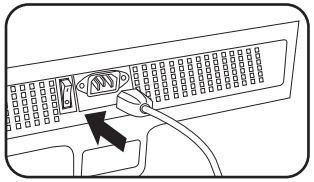


⑨マシン背面にある主電源スイッチを“切（○）”にしてください。
その後、コンセントを抜いてください。

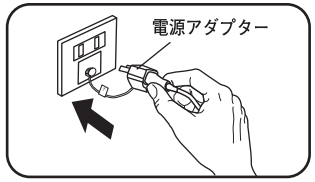


ノーマルモード（手差し細断）

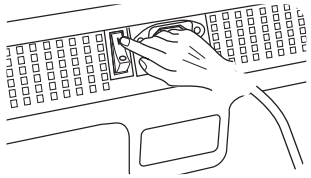
①付属の電源コードを本体背部の電源コネクタにしっかりと差し込んでください。



②付属の電源アダプター(アース端子付)のアース端子をアース接続した後に、コンセント(AC100V)に差し込んでください。

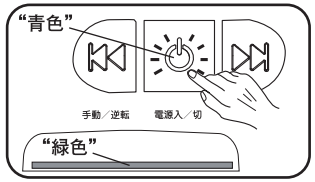


③マシン背面にある主電源スイッチを“入(Ⅰ)”にしてください。

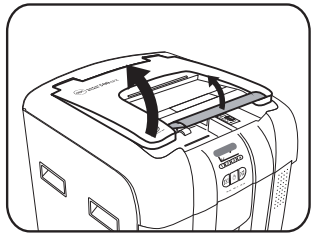


④電源ボタンを押してください。
トップカバーにあるインジケーターバー(緑色)と電源ボタン(青色)が点灯し、細断が可能になります。

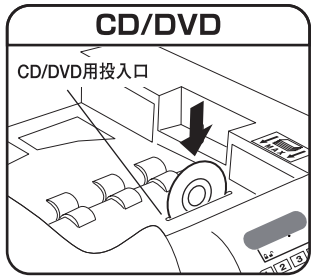
※2分間使用しないと、電源入／切ボタン(青色)が消え、自動的に待機状態になります。再度使用する場合は、電源入／切ボタンを押してください。



⑤中央のハンドルを上げながら、トップカバーを垂直なるまで引き上げてください。

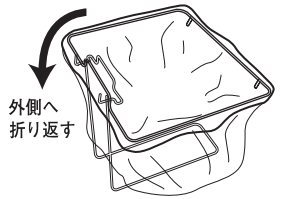


⑥CD/DVDの細断：
CD/DVD用投入口へ細断するCD/DVDを奥まで差し込んでください。

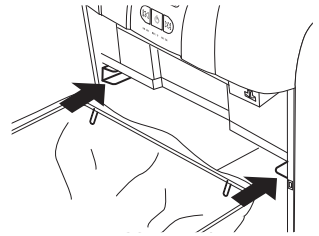


ゴミ袋のセット

①ゴミ袋をゴミ袋用フレームの中に入れ、縁を外側へ折り返してください。



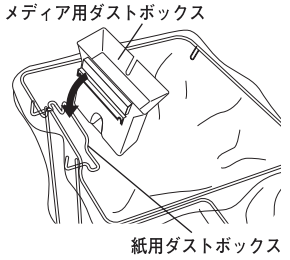
②ゴミ袋を折り返した状態のままゴミ袋用フレームをキャビネット内の左右にあるフレームレールに差し込んでセットしてください。



★市販の90L用ゴミ袋がご使用いただけます。

メディア用ダストボックスの取付方法

メディアを細断するときは、メディア用ダストボックスを使用していただくと細断クズを分別することができます。(静電気等の理由により完全な細断くずの分別はできません。)
CD/DVDの専用ダストボックスをゴミ袋用フレーム上部にセットして使用してください。



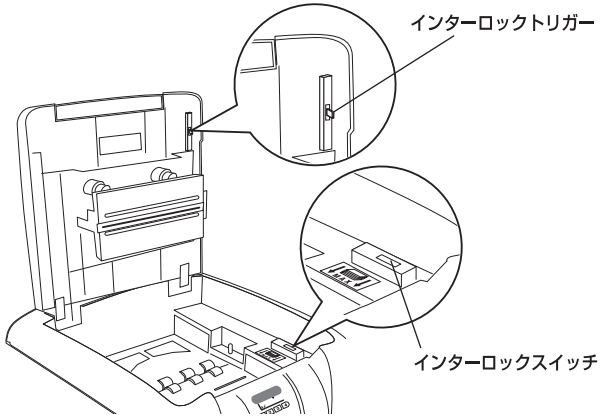
★メディア用ダストボックスはCD/DVDを細断する時だけ取り付けてください。
紙類を細断する場合はメディア用ダストボックスを外して、メディア用ダストボックスホルダーに掛けてください。

★メディア用ダストボックス内のくずは表から視認できません。メディアのくずがたまりすぎますと、くずが巻き上がりたいへん危険です。また故障の原因となります。
CD/DVDは8枚を目安に早めに捨ててください。

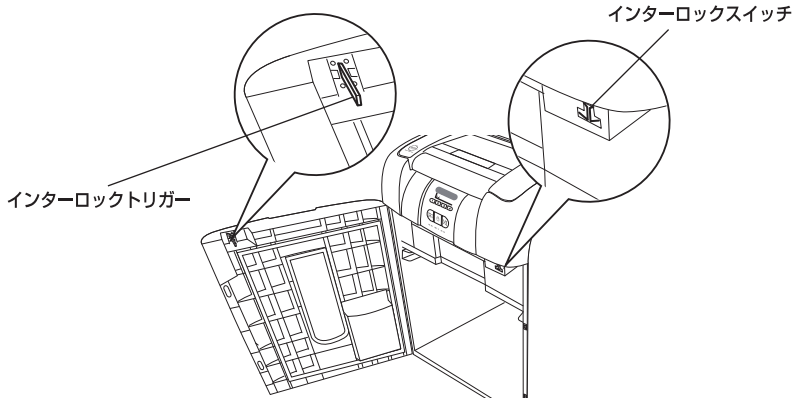
インターロックスイッチ

トップカバーやキャビネットドアがきちんと閉まっていない場合は、安全のために本機は作動しません。トップカバー部とキャビネットドア部にはインターロックトリガー／スイッチがあります。
正しくセットされていない場合は、インジケーターバーが赤色に点灯して知らせます。
正常な場合はインジケーターバーが緑色に点灯します。

＜トップカバー部＞



＜キャビネットドア部＞

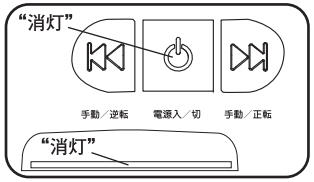


ートップカバーロック機能＜解除方法＞ー

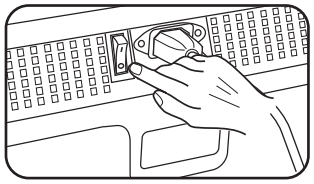
＜ロック解除するには＞
★細断が終了した場合（自動解除）
★入力した4桁の数字を再入力した場合
・正しいコードを入力した場合
トップカバーロックランプが3回緑色に点灯します。
・間違ったコードを入力した場合
トップカバーロックランプが3回赤色に点灯します。
※3回コードを間違えて入力した場合、ロックアウトされます。
その場合、細断終了後自動解除されます。
※紙詰まりなどで細断が終了できない場合、30分後に自動解除となります。
その間、電源を切らないでください。

⑨細断が終了しますと、約2分後にトップカバーにあるインジケーターバー（緑色）と電源ボタン（青色）が消灯して、自動的に待機状態になります。

※再度使用する場合は、電源入／切ボタンを押してください。



⑩マシン背面にある主電源スイッチを“切（○）”にしてください。
その後、コンセントを抜いてください。



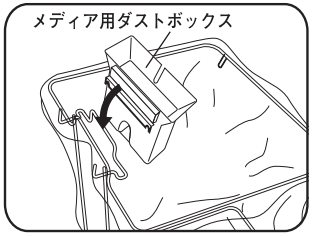
CD/DVD・カード類の細断

CD/DVDとカード類の細断はオートフィードトレイ内の投入口を利用して下記手順で細断してください。

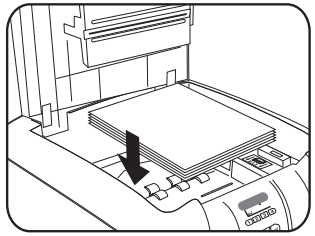
★CD/DVD/CARD類は必ず1枚ずつ細断してください。

①CD/DVDの専用ダストボックスをゴミ袋用フレームにセットしてください。

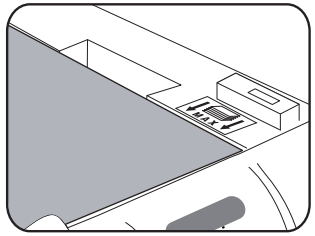
★メディア用ダストボックス内のくずは表から視認できません。メディアのくずがたまりすぎますと、くずが巻き上がりたいへん危険です。また故障の原因となります。
CD/DVDは8枚を目安に早めに捨ててください。



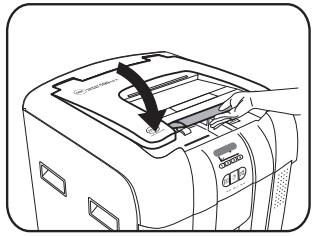
⑦フィードトレイに細断する書類を重ねて置いてください。この時、トレイからはみ出さないようにセットしてください。



＜トレイ最大収納枚数＞
※約500枚の書類(コピー用紙 64g/m^2～80g/m^2)を重ねることができます。トレイ内のガイドを参照してください。



⑧中央のハンドルを持ち上げながら、トップカバーを押してしっかりと閉めてください。
閉めた後、フィーダーが自動給紙して、細断を開始します。
細断中にはインジケーターバーが赤色に点滅し、終了すると緑色の点灯に変わります。



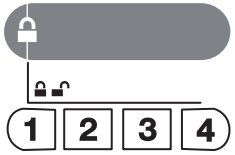
⚠ 注意

トップカバー後部には手や物を置かないでください。
※カバーの開閉時に生じるすき間に入ると、負傷したり、マシンの故障の原因となります。

ートップカバーロック機能ー

オートフィードモード時、フィードトレイにセットしてその場を離れても、トレイの中の書類を抜き取れることのないようにトップカバーをロックすることができます。

＜ロックするには＞
トップカバーを閉めた後、トップカバーロックキーで自由に4桁の数字を10秒以内に入力してください。トップカバーロックランプ(赤)が点灯して、トップカバーがロックされます。

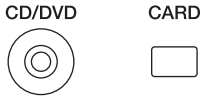


5・ご使用方法

注意

★モーター保護のため、紙類とCD/DVDを同時に細断しないでください。

★CD/DVD/CARD類は必ず1枚ずつ細断してください



ーオートカットオフ機能ー

本機はモーター保護のためオートカットオフ機能が働きます。連続運転(45分以上)を続けたり、書類がかみこんだ状態で放置しますと、オーバーヒートランプが赤色に点滅し自動的に停止します。この機能が働き本機が停止した時は、必ず電源を切りそのまま冷却してください。
約60分後には再び使用することができます。
電源を切りませんと、復帰後、急にカッターが回転して大変危険です。

ーオートシャットオフ機能ー

本機は省エネルギー・安全性のため、約2分間以上細断物を何も投入しないと、自動で電源オフになり、インジケーターバーが消灯します。
電源を再度入れる場合は、電源入／切ボタンを押してください。

ーカバーオープン警告機能ー

本機は安全のため、トレイカバーが開いている状態、キャビネットドアが閉まっていない状態では作動しません。
トップカバー＆ドアオープン／細断くず満杯ランプ(赤)が点灯して知らせます。しっかり閉め直してください。

ーオートフィードモードとノーマルモードー

オートフィードモードとノーマルモード(手差し細断)を同時に行うことはできません。また、紙類・CD/DVD・カード類も同時に細断しないでください。故障の原因となりますので、細断しているものが終了してから細断してください。

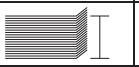
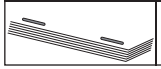
ダストボックスの窓の8分目まで細断くずが到達したら、早めにゴミを捨ててください。
巻き込み等故障の原因となります。

★メディア用ダストボックス内のくずは表から視認できません。メディアのくずがたまりすぎますと、くずが巻き上がりたいへん危険です。また故障の原因となります。
CD/DVDは8枚を目安に早めに捨ててください。

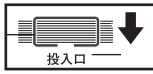
オートフィードモード（自動給紙細断）

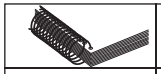
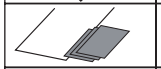
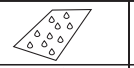
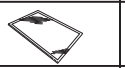
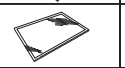
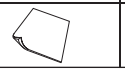
ーオートフィードできないものー

下記のものについてはオートフィードモードで細断しないでください。故障の原因となります。

✕	オートフィード不可事項	対処方法
	☆10号針以上のステープルを使用した書類	☆ステープルを外してセットしてください。
	☆25枚以上をステープルで綴じた書類	
	☆2ヶ所以上ステープルで綴じた書類	

＜注意事項＞

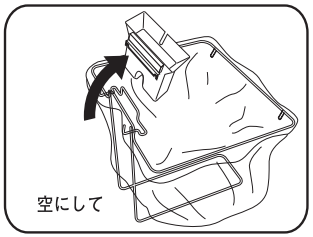
	☆ステープルで綴じた書類を細断する場合 留めた針の隙間が下になるようにセットしてください。

	☆製本された書類	☆細断できません。
	☆クリップで綴じた書類	☆クリップを外してセットしてください
	☆雑誌類	☆細断できません。
	☆複数に折った書類 （2ツ折を2枚までは可能）	☆手差し投入で細断してください。
	☆A5サイズ以下の小さな紙	
	☆カード類	
	☆縮れた紙	
	☆湿った紙	☆乾かした後、手差し投入で細断してください。
	☆封筒書類	☆細断できません。
	☆プラスチックシート	
	☆光沢紙・ラミネートした書類・厚紙	
	☆糊のラベル・シール	

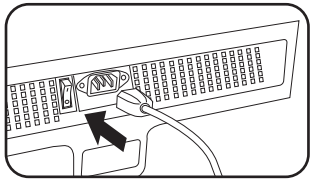
最大給紙可能枚数（オートフィード時）	コピー用紙（64g/m²−80g/m²）	約500 枚

①キャビネットドアを開け、ゴミを処分して、空のゴミ袋をセットしてください。
また、メディア用ダストボックスを取り外して、本体右側面のホルダーに収納してください。

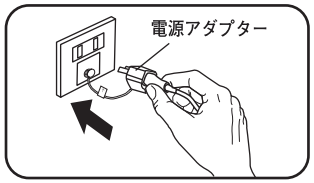
※紙詰まりの原因となりますので、必ずゴミ袋のゴミを処理してからオートフィードモードでの細断をしてください。



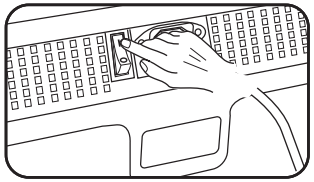
②付属の電源コードを本体背部の電源コネクタにしっかりと差し込んでください。



③付属の電源アダプター（アース端子付）のアース端子をアース接続した後に、コンセント（AC100V）に差し込んでください。

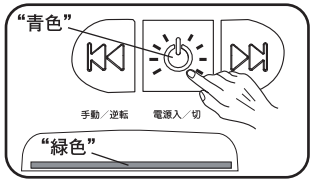


④マシン背面にある主電源スイッチを“入（ｌ）”にしてください。



⑤電源ボタンを押してください。
トップカバーにあるインジケーターバー（緑色）と電源ボタン（青色）が点灯し、細断が可能になります。

※2分間使用しないと、電源入／切ボタン（青色）が消え、自動的に待機状態になります。再度使用する場合は、電源入／切ボタンを押してください。



⑥中央のハンドルを上げながら、トップカバーを垂直なるまで引き上げてください。